

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩手県立二戸高等看護学院
設置者名	岩手県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程 (新カリキュラム)	看護学科	夜・通信	74 単位	9 単位	
		夜・通信			
医療専門課程 (旧カリキュラム)	看護学科	夜・通信	79 単位	9 単位	
		夜・通信			
(備考) 学年進行で教育課程の変更の途上であるため、新課程、旧課程を分けて記載。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/kikan/ninohe/1022305.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	岩手県立二戸高等看護学院
設置者名	岩手県

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育運営委員会
役割	学内運営に関する重要事項、カリキュラムに関する重要事項、学生の成績評価、学籍に関する事項等を審議

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
県立病院 医師	2年	
県立病院 看護師	2年	
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手県立二戸高等看護学院
設置者名	岩手県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各授業の担当教員が科目のねらいに沿ったシラバスを作成している。 年度初めに公表 	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページ</p> <p>https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kikan/ni-nohe/1022305.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各学生の学修成果に基づき、学則で定めた成績評価基準により、厳格かつ適正に単位認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>当該学生の履修科目において、科目終了試験における全科目の得点(100点満点又は100点満点に換算した得点)の合算を算出し、その合計を履修科目数で割って得られる数値を得点平均値とし、学科内の成績位置とする。</p> <p>(例)</p> <p>学生A(履修科目数10)の平均得点値</p> $= (\text{科目①の得点} + \text{科目②の得点} + (\text{中略}) + \text{科目⑩の得点}) \div 10$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページ</p> <p>https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kikan/ni-nohe/1022324.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業までに所定の修業年限を在学し、出席すべき日数の3分の2以上出席している者、及び所定の単位数を修得した者に、卒業を認定するとともに専門士(医療専門課程)の称号を与える。

本課程を修了した者には、次に掲げる卒業生像に達していることを期待する。

【期待する卒業生像】

- 1 人々の生命の尊厳を理解し、倫理観に基づいた態度をとることができる。
- 2 対象は、身体的・精神的・社会的側面を持ち、生活している人々であることを理解している。
- 3 科学的根拠に基づいた看護実践ができる知識・技術・態度を身につけている。
- 4 保健・医療・福祉において看護職の役割及び多職種の役割を認識し、協働できる能力を身につけている。
- 5 社会への関心と看護への探究心を持ち、専門職業人として学習し続けることができる。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kikan/ninohe/1022324.html
----------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩手県立二戸高等看護学院
設置者名	岩手県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士			高度専門士	
		医療専門課程	看護学科	専門士（医療専門課程）				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼	旧課程 97/単位 新課程 102/単位	旧課程 74/単位 新課程 79/単位	単位時間 /単位	旧課程 23/単位 新課程 23/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			旧課程 97/単位 新課程 102/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
105人		91人	人	8人	94人	102人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 講義（演習）、実習で構成されており、看護師としての基盤を身に着けるため、基礎分野から専門分野までを体系的に学ぶ。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価は、各授業科目及び各実習科目において最高点を100点として行い、60点以上の得点を得た学生を合格とし、単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 教育課程で定める所定の単位を修得した者に卒業を認定する。
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>学年に担当及び副担当を置き、学生と面談を実施、生活、学習、実習においてアドバイスを行いながら必要に応じスクールカウンセラーに繋いでいる。</p> <p>3年生は、学生を一定のグループに分けて、グループごとに教員が指導にあたるチューター制を採用している。</p> <p>また、成績不振者には、個別指導を行う。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
31人 (100%)	4人 (12.9%)	27人 (87.1%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 医療機関に看護師として就職			
(就職指導内容) 県内就職を推奨 学生自身の適性に合わせた進路選択を考えさせる。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験に卒業生全員合格した。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91人	3人	3.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、スクールカウンセラーの活用		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	5,600 円	129,600 円	96,000 円	クラス費積立 (8,000 円/月)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
岩手県看護職員修学資金、日本学生支援機構 (第1種、第2種、給付) 奨学金				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kikan/ninohe/1003327.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育課程経営 (教育理念・教育目的の達成に向けて、教育目標が達成できる一貫した科目構成になっているか)、教授・学習・評価過程 (教育理念・教育目的の達成に向けて、講義・実習の内容の精選が行われ計画的に実施・評価されているか) 等の評価項目について、教職員が自己評価を行い、教員会議で協議し評価を決定する。 全教職員の評価を参考に、委員会が最終評価を行う。委員の構成は以下のとおり。 評価結果は、次年度の業務方針作成や授業づくりに活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
県立病院 医師	2年	公営企業 (医療局)
県立病院 看護師	2年	公営企業 (医療局)
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 令和元年度実施、令和2年4月公表。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kikan/ninohe/index.html
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	岩手県立二戸高等看護学院
設置者名	岩手県

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		9人	9人	9人
内 訳	第Ⅰ区分	3人	4人	
	第Ⅱ区分	2人	3人	
	第Ⅲ区分	4人	2人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				9人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。